

防災教育チャレンジプラン実践報告

# I Love 甘枝

～ 私たちの手で守る ～



徳島県阿南市立新野東小学校

# はじめに

私たちは今までに大きな地震を体験していない。



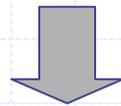
近年起こるといわれている南海地震が起きたとき、  
火災災害も予測される。



自分たちにできることをしていかなければ、援助や  
支援を待つだけではどうにもならない。

## 研究の目的

- (1) 必ず起こるといわれている南海地震に対しての関心をもつ。
- (2) 自分たちが地域の一員として、災害時にできることを考える。



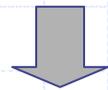
子どもたちにつける防災力



## 徳島県立防災センターの見学



地震体験や消火体験などの体験活動を通して現実を知る。



防災に対する意識を高めるとともに、被害を最小限に食い止めるために自分にできることは何かを考える。

# 地震避難一泊シミュレーション

「10月20日午後、震度6の地震が発生したと想定。避難命令が出され、午後4時過ぎ避難場所である新野東小学校体育館に避難する。・・・現状はひきつづき微震続き、電気、水道も遮断された状況で復帰のメドもついていない。とりあえず、一晩学校で避難し、回復を待つ」というシミュレーションである。



## 活動内容

- ・かまどづくり
- ・竹の切り出し
- ・ごはんづくり
- ・一泊避難生活
- ・非常持ち出し袋のチェック
- ・阿南消防組合 平岡さんのお話

# かまどづくり



# 竹の切り出しと竹の飯ごうづくり



# 体育館での夜



体育館で、マットを敷いたり、寝袋を使ったりしたが、空腹と寒さが身にしみた。

# 特産『竹』での ごはんたき



# たけたぞ！ごはん



ごはんが食べられる  
喜びを感じました。

## 阿南消防組合や市民安全局の方からもお話を聞きました。



災害時救援対応機は、設置を増やしていくそうです。



地震についての説明や過去の地震と今後考えられる地震について教えていただいたり、質問に答えていただきました。

# 廿枝から発信 ～みなさんへ～



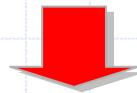
## 隣町，由岐町を訪問して



行政と地域住民がともに  
津波に対する対策を考え、  
取り組んでいる由岐町を見  
学しました。

## 成果と課題

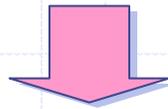
- 見学やお話を聞いて、必ず起こるであろう南海地震を現実的なものとして受けとめた。
- シュミレーション体験を通して、一人の力では何もできないことを知った。
- 日頃からのコミュニケーションの大切さと助け合って生きていくことの大切さを知った。
- 予期しないことが起きると、判断ができなくなる。



瞬間的な判断力は命にかかわる

# おわりに

私たちは、ふるさとを大切にしたい。



子どもたちの防災意識をしっかりと育てる。

そして、「自分の命は自分で守る」力をつける。

人として小さなボランティアができる人間づくり